

## 入院を必要とした「エコノミークラス症候群」患者数

熊本大学医学部附属病院循環器内科の協力を得て、県内の主要な医療機関（20病院）で、「エコノミークラス症候群」（医師が入院を必要と判断した静脈血栓症）の患者数を集計することとしました。

毎日、前日午後4時現在の標記患者数を、午前10時頃を目途に公表します。引き続き、エコノミークラス症候群の予防啓発に御協力くださいますようお願いいたします。

平成28年4月24日午後4時現在（4月14日から4月24日までの累計）

	65歳未満	65歳以上	計
男性	4	2	6
女性	10	19	29
計	14	21	35

※熊本大学医学部附属病院循環器内科調べ。数字は、医師が入院を必要と判断した静脈血栓症（肺血栓塞栓症（PE）と深部静脈血栓症（DVT））の4月14日から4月24日までの患者数の累計。

### <県内の主要な20の医療機関による集計>

熊本大学医学部附属病院、熊本中央病院、済生会熊本病院、熊本医療センター、熊本赤十字病院、熊本市市民病院、熊本機能病院、熊本地域医療センター、阿蘇医療センター、熊本労災病院、熊本総合病院、杉村病院、公立玉名中央病院、荒尾市民病院、人吉医療センター、天草地域医療センター、国保水俣市立総合医療センター、上天草総合病院、熊本再春荘病院、山鹿市民医療センター

〒862-8570

熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

熊本県健康福祉部健康づくり推進課 古城、藤本

TEL 096-333-2208 FAX 096-383-0498